

# 課題を抱える子ども・家庭に向けた コミュニティ・スクールの可能性

大阪府立大学 山野則子

<http://www.human.osakafu-u.ac.jp/ssw-opu/>

## プロフィール

- 学会関連  
日本学校ソーシャルワーク学会理事  
日本社会福祉学会理事・日本子ども家庭福祉学会理事(2014年6月まで)
- 委員;全国レベル中心  
内閣府 子どもの貧困対策検討委員会構成員(2014年4月～)  
文部科学省 中央教育審議会分科会委員(2013年3月～)  
文部科学省 家庭教育支援チームのあり方に関する検討委員会座長  
(2013年度)  
文部科学省 家庭教育支援の推進に関する検討委員会委員(2011年度)  
文部科学省 社会教育アドバイザー(2010年～2012年)  
スクールソーシャルワーカー養成事業企画検討委員  
(日本社会福祉養成校協会)
- 著書  
「よくわかるスクールソーシャルワーク」(2012年ミネルヴァ書房)  
「子ども虐待を防ぐ市町村ネットワークとソーシャルワーク」(2009年)他

## 本日のポイント

- 子どもをめぐる実態
- ソーシャルワークの視点～機関と連携
- コミュニティスクールの可能性

3

## 子どもたちの置かれた環境

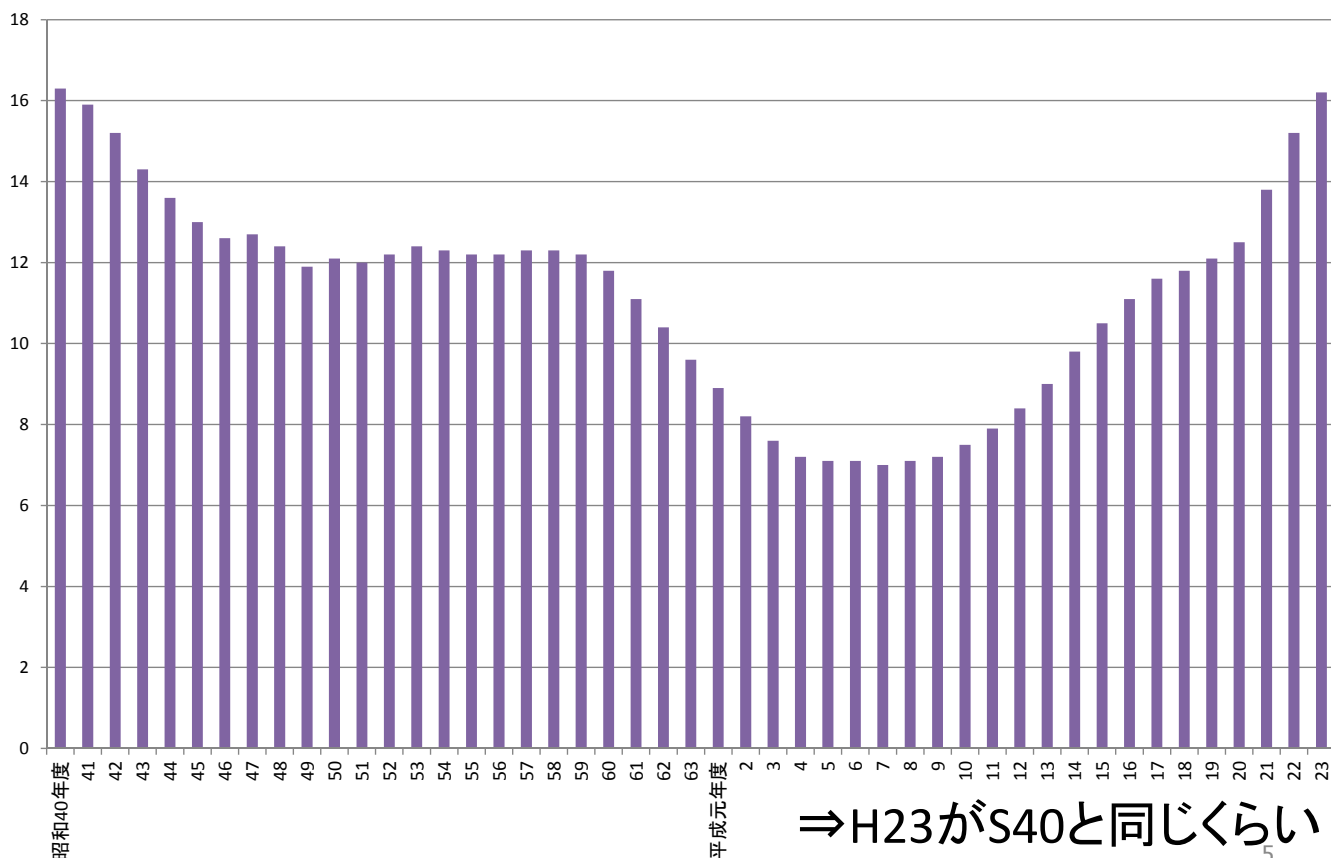
- 生活保護率全国平均 1.64% (平成25年1月)
- 就学援助全国平均 15.64% (平成25年度)
- 母子家庭全国平均 全世帯の3% (平成22年)



- 例えば、ある自治体のスクールソーシャルワーカーが入った学校では(山野2006)・・・
  - 生活保護率 約6%
  - 就学援助率 約50%
  - 母子家庭率 28.9%

4

# 生活保護率年次の推移(出所:厚生統計要覧、厚生労働省)



## 見えない！ 貧困

= 支援が届かない実態...

- 6畳1間で7人暮らす父子 ↓文科省(2014)  
(奨学金周知率:資料配布61.9%、HP掲載54.9%)
- 被災地の例(震災給付で生保0⇒見えなくなる)
- 車上やネットカフェで過ごす母子  
教育ネグレクト、虐待通告必要(国民の義務)

⇒学校から見える姿は...

遅刻が多い  
不登校、怠学

# 格差が影響していく

## ●施設の例(九社連児童養護施設協議会2013)

①高校進学:入所児約93% > 家庭復帰児男子約72%、女子約83%

②中退率:入所児約13%(H18~22平均) > 一般2.1%

③中卒離職率:入所児75%(H18~22平均) > 一般62.1%

## ●大阪の例(大阪の子どもたち」大阪人権教育研究協議会、H26年)

①高校進学:府内全体97.1%、生保91.6%、  
(H25.3) 加配配置校90.1%、在日94.4%

②中退率:生保8.5%、在日7.1%  
(H25.3)

## 見えない！孤立

= 支援が届かない実態...

- 子育ての孤立や不安が子育て層の3割から半数
- 不適切な養育につながる可能性大

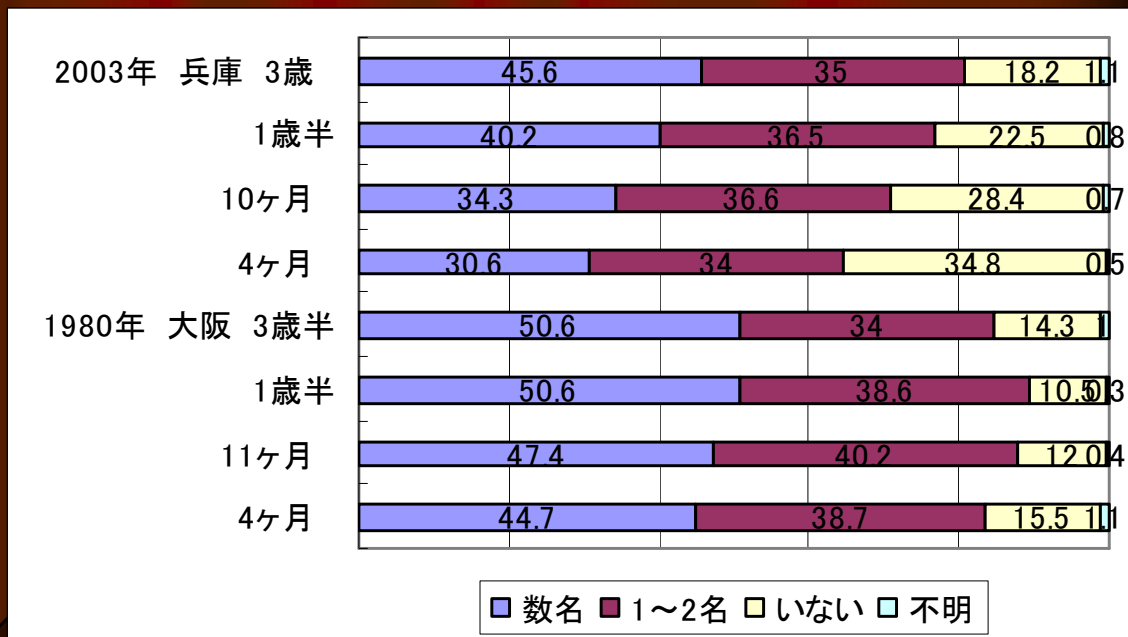
調査)保健所での健診時に行った大規模調査「大阪レポート」と同じ質問項目によって、23年後の調査として比較検討を行った。

「大阪レポート」とは、大阪府下のある市(当時、人口12万人)に、1980年生まれの全数児(約2000人)を対象に実施された育児の実態調査

\* 平成14~16年度厚生科学研究(3年継続)「児童虐待発生要因の解明と児童虐待への地域における予防的支援方法の開発に関する研究」主任研究者 服部祥子(2004)

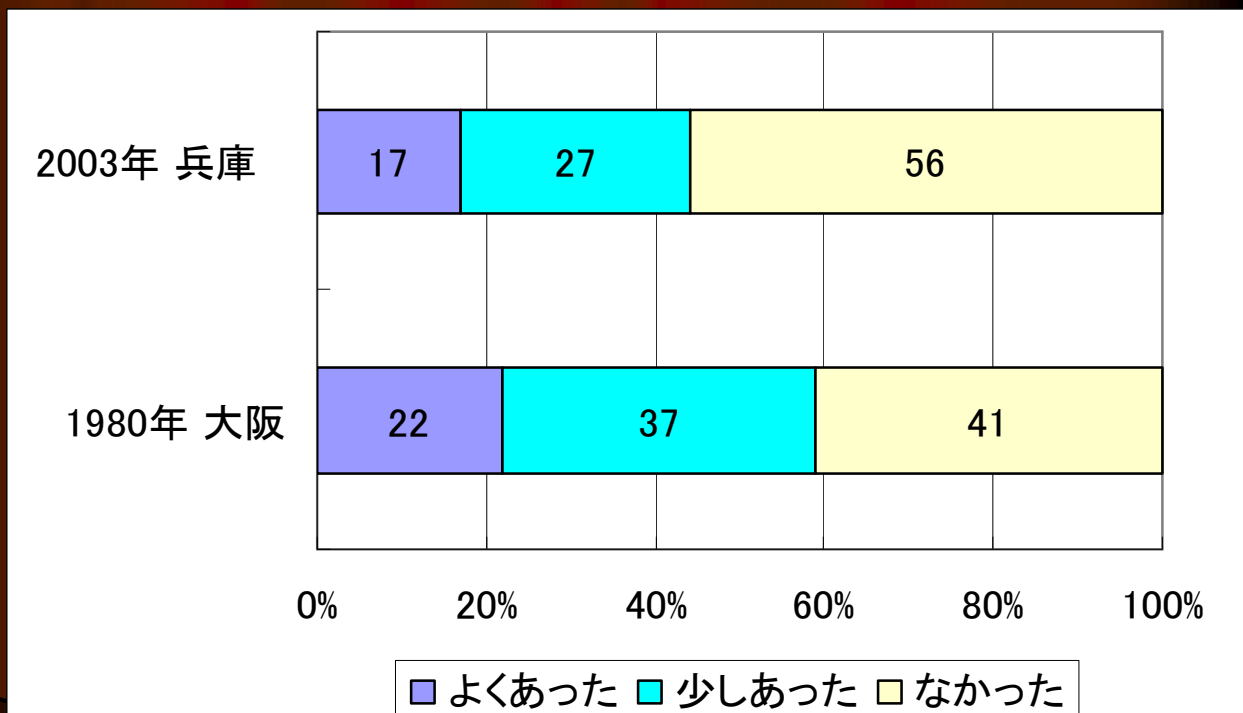
資料:調査結果)

## 近所にふだん世間話をしたり、赤ちゃんの話をしたりする人はいますか



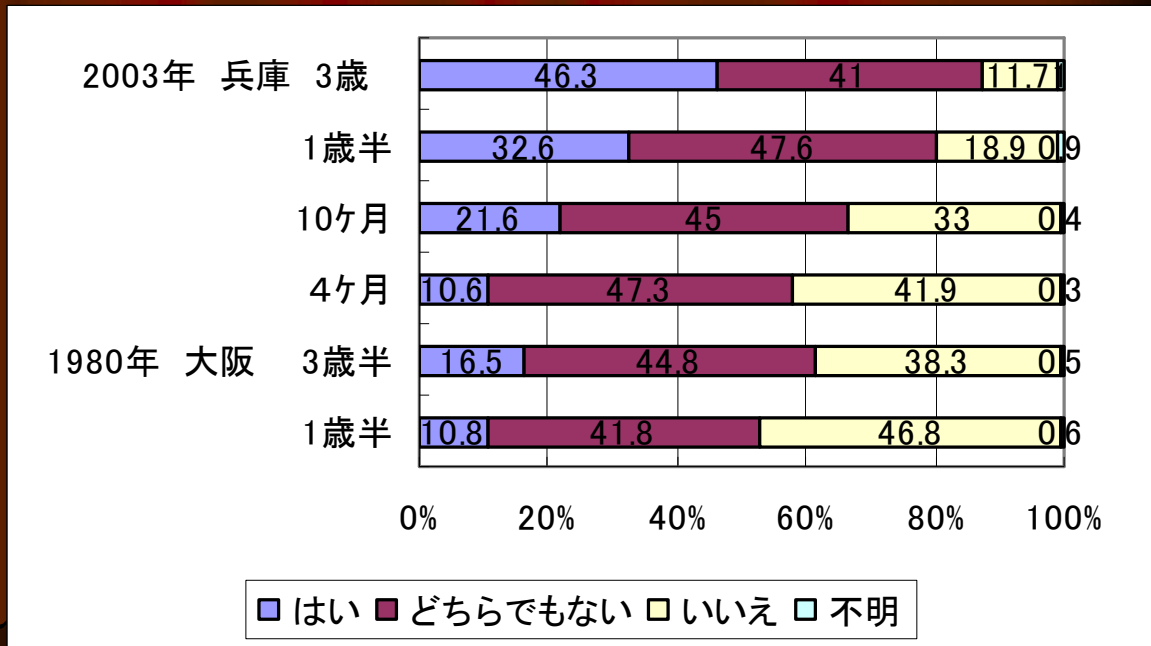
原田ほか(2004)

## 自分の子どもが生まれるまでに、他の小さいお子さんに食べさせたり、おむつを替えたりしたことはありますか



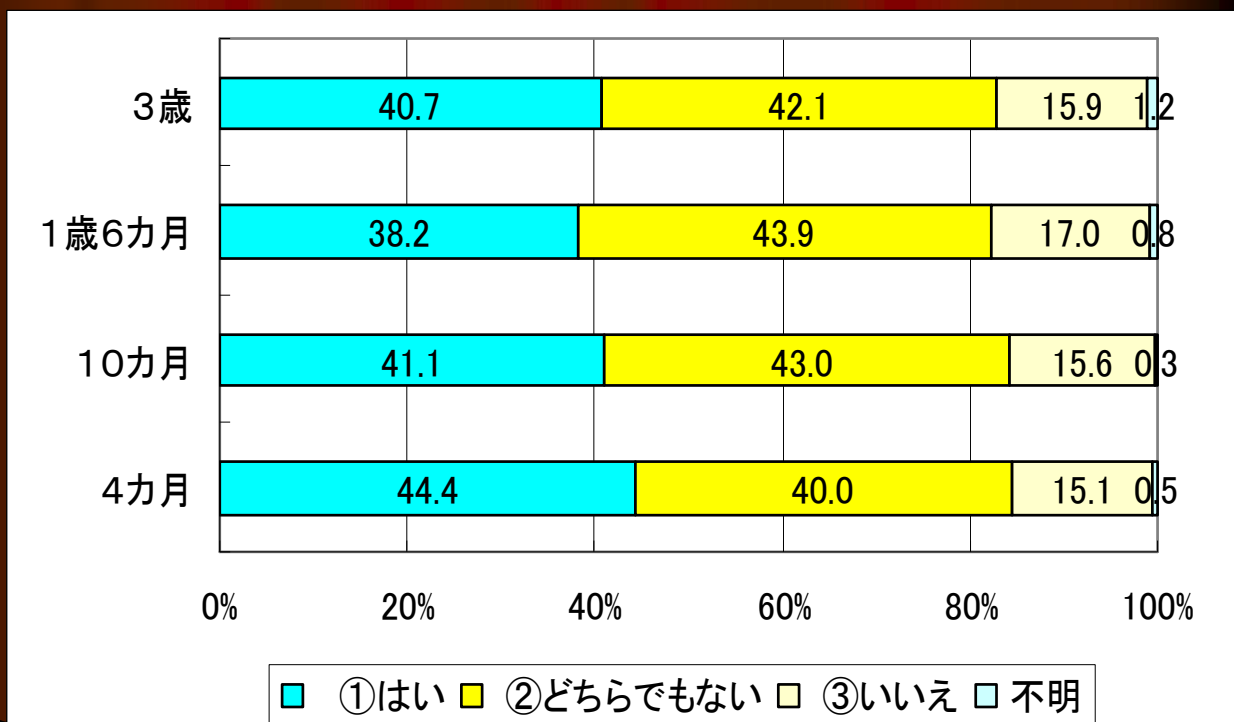
服部(2004)

# 子育てで、いろいろすることは多い ですか



服部 (2004)

# 他の人があなたの育児をほめたり 批判したりするのは気になりますか



服部 (2004)

<第1次調査>

孤立・不安の増大、評価気になる、「比較」傾向→30%から半数の人⇒**孤立が見えにくい!**

⇒視点を変える必要性

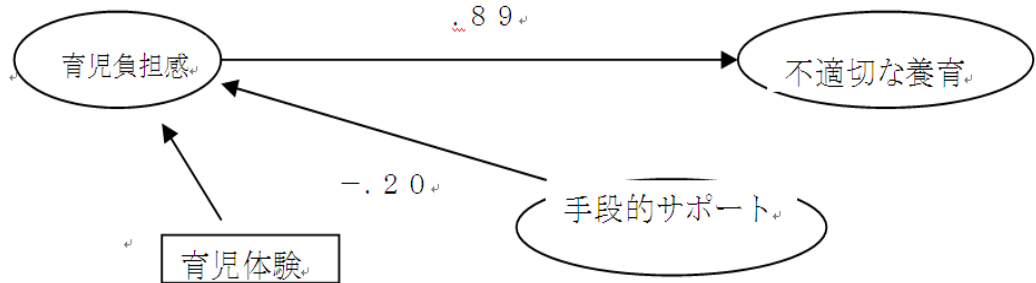
孤立(確認・気付く場がない)

⇒児童虐待に直結

モデルがない(地縁、血縁の希薄化)

自信が持てない

<第3次調査>(育児負担感の軽減に寄与するもの)



\*手段的サポートとは

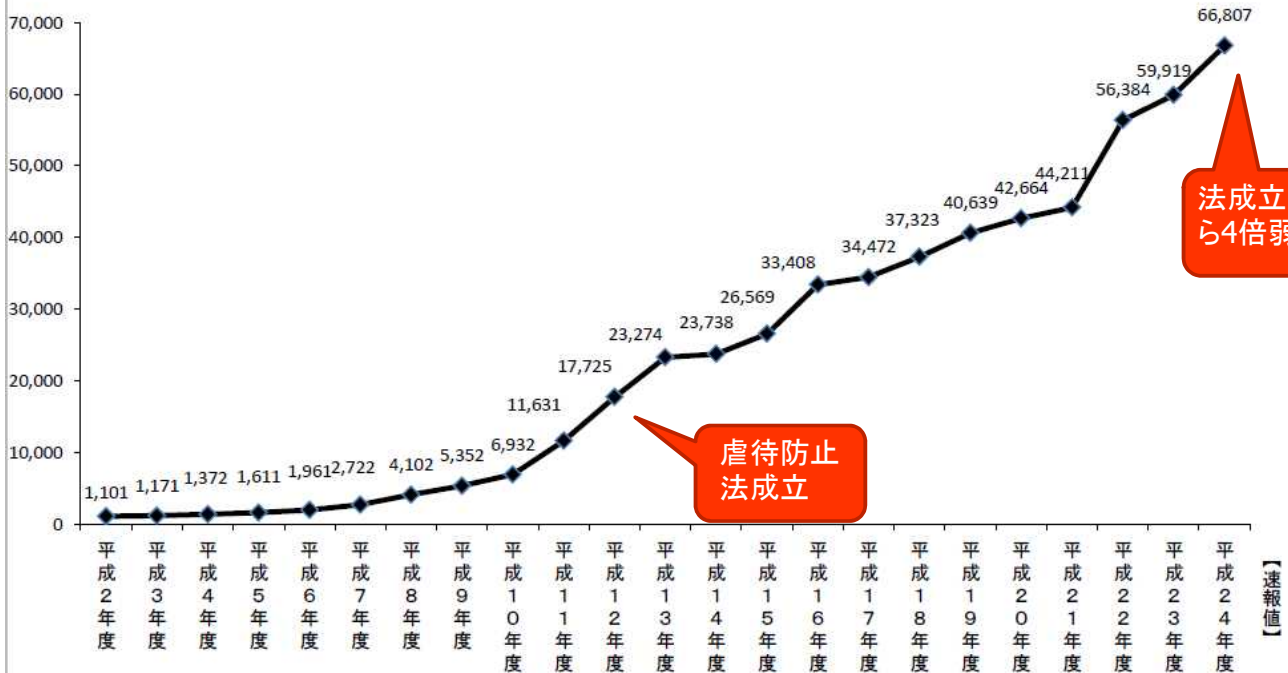
留守の間見てもらう

買い物の間、見てもらう

病院の付き添いの代理 等

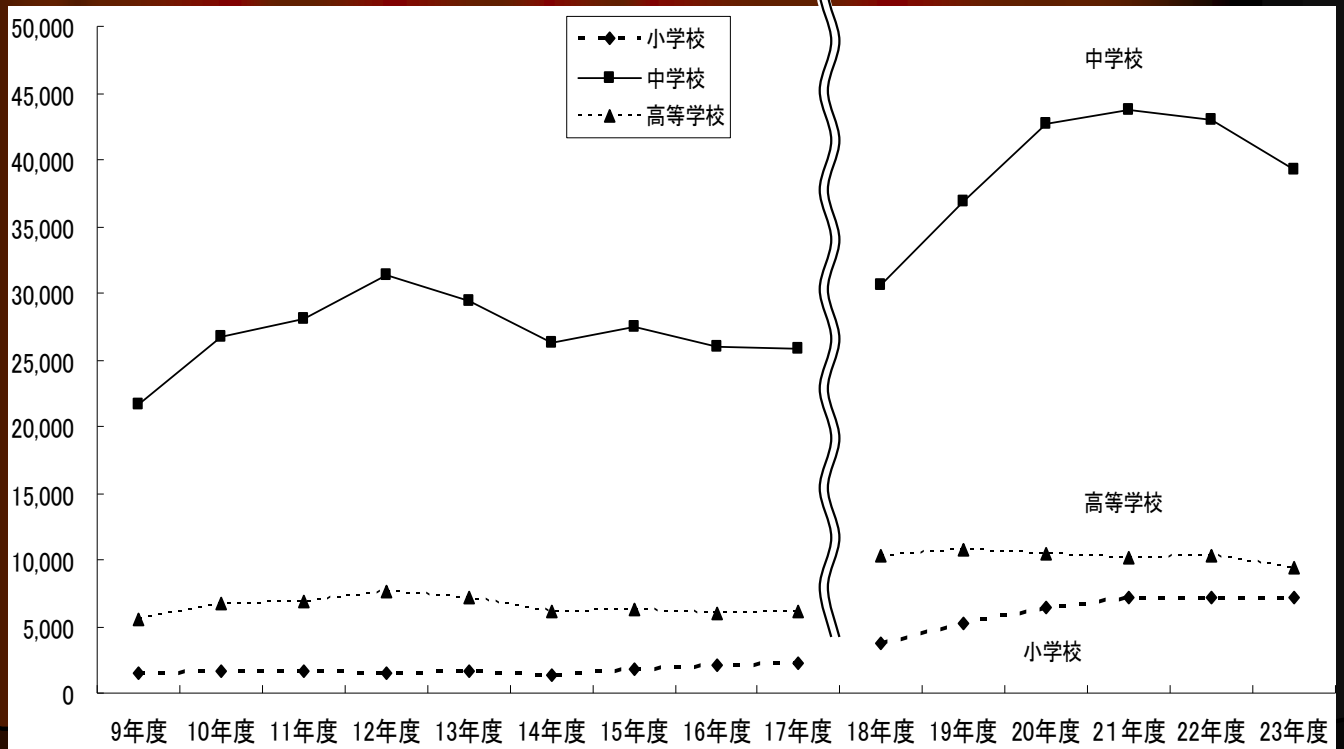
山野則子(2005)「育児負担感と不適切な養育の関連に関する構造分析, 山野則子, 平成16年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書」2005年3月

### 3) 児童虐待の増加



# <非行とその背景>

\* 2011年度児童生徒の暴力行為は約5万6千件(前年度比4400件減、校外は約1割)



出所:「平成23年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」文部科学省

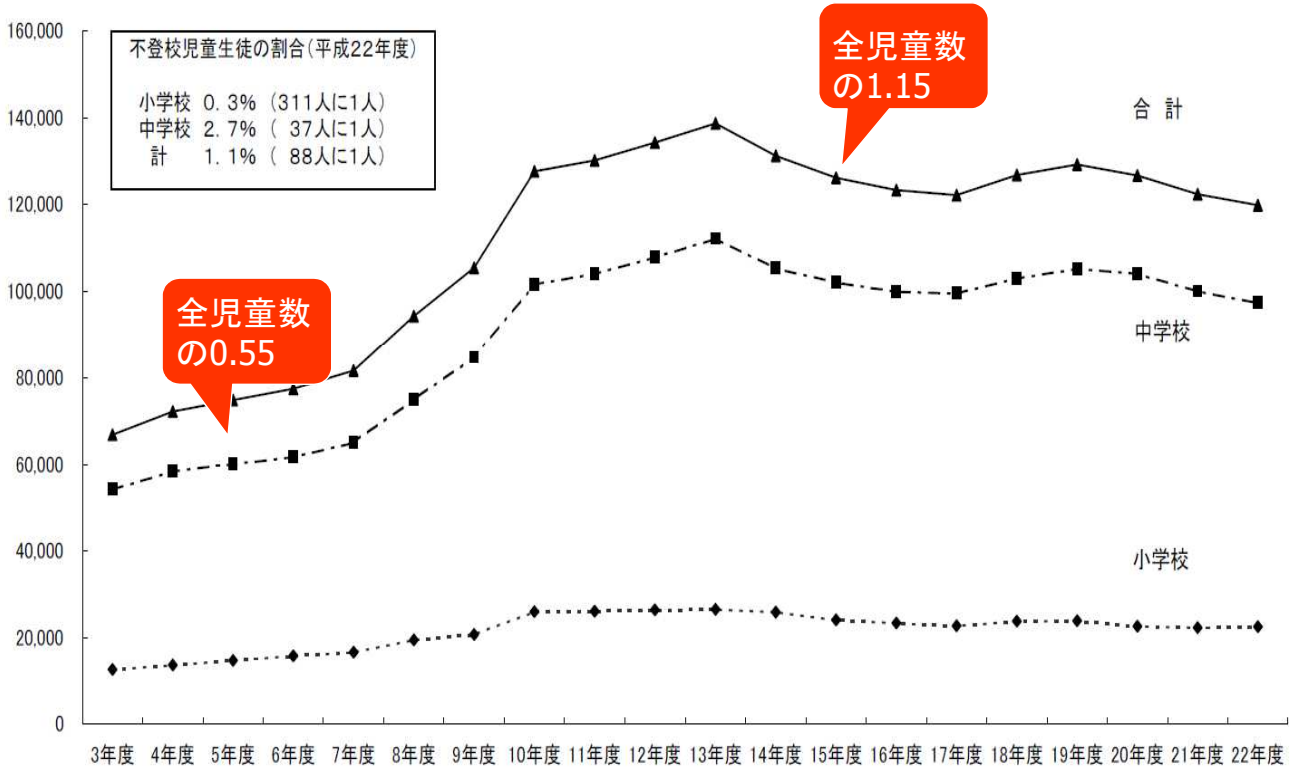
## 児童虐待の影響 1

- 全国児童自立支援施設入所児童の約6割が被虐待児(1999年における調査:対象者数1405人,回収率87.7%)
- 少年院全体の約70%が身体的虐待あるいは性的虐待の被虐待経験(法務総合研究所, 2000)
- 「粗暴傾向の少年相談事例に関する調査」では, 5, 6人に1人の割合で被虐待経験(科学警察研究所, 2002)



# <不登校とその背景>

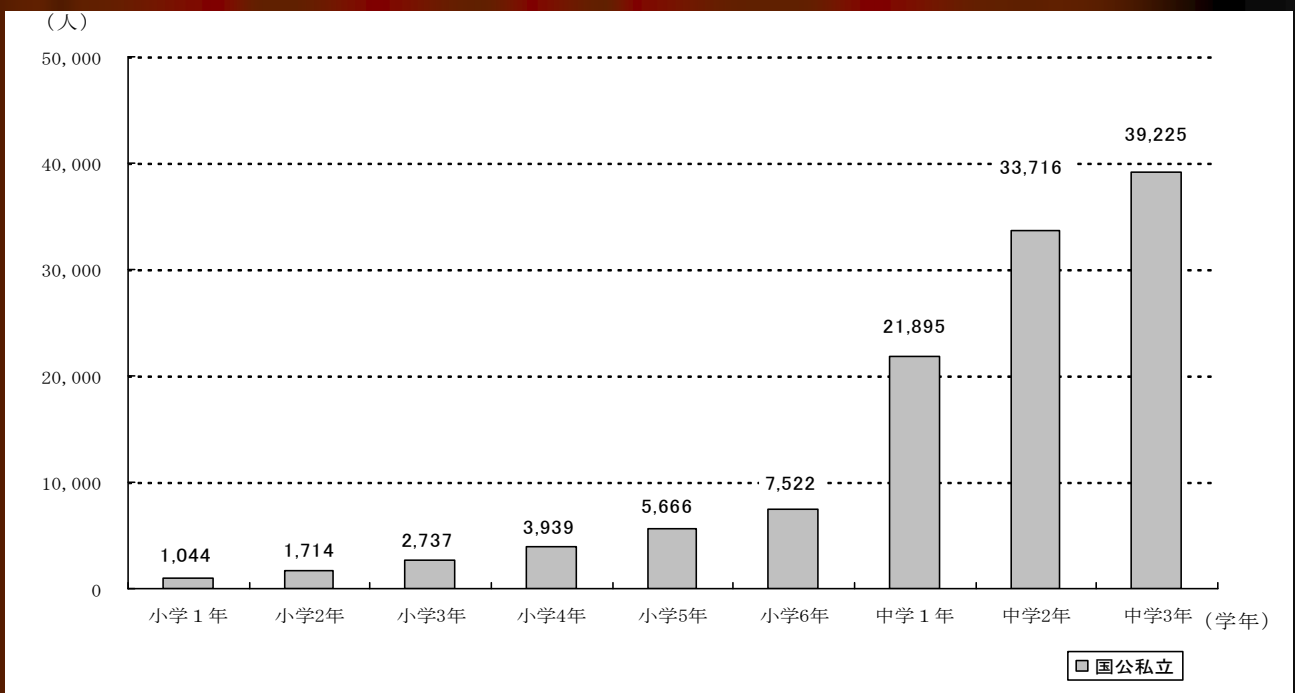
<参考1> 不登校児童生徒数の推移



出所: 文科省「平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

## 学年別不登校児童生徒数

出所: 文科省「平成23年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」



小6から中1: 段差約3倍

## ネグレクトとしての不登校

- 親の就労形態や後押しのなさで生じる、あるいは親の意志で生じる不登校の存在
- 丁寧に1担任制で見れる小学校から、中学校に変わるところで、後押しのない家庭背景の子どもがドロップしてしまう。

孤立、貧困

→ 児童虐待

→ 不適応

- 決して一部の問題ではない！

# スクールソーシャルワークの視点 ～さまざまなところとの連携～

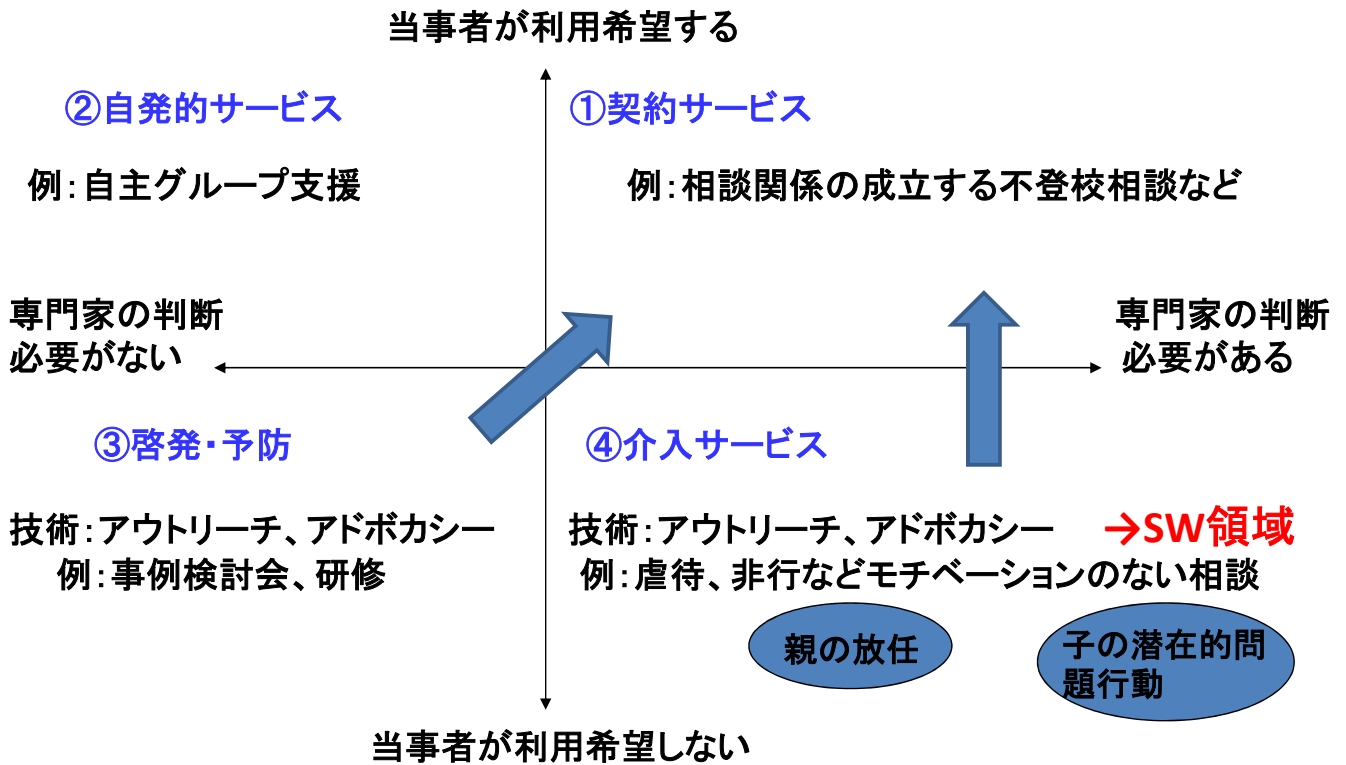
21

## 学校現場の実態 (山野2008)

＜科研による調査：大阪府内小中の教師8626人に配布し、3089人の回収(回収率47.14%)＞

- 親に対して：「持ち物がそろわない76.7%」「子どもの宿題をみていない74.1%」「教材等の支払いが滞る70.5%」「子どもの生活面の指導に協力が得られない66.2%」「服装や食事をきちんと用意していない66.1%」
- 子どもに対して：「他人が傷つくようなことを平気で言う88.8%」「友達との交友関係がうまく取れない83.9%」「何度も指導するが伝わらない78.5%」「ちょっとしたことにすねたりキレたりする78.1%」

# 地域、学校が困っている領域



出所: 山野(2007:72)

## ソーシャルワークとは

- ソーシャルワーク専門職は、人間の福利(ウェルビーイング)の増進を目指して、社会の変革を進め、人間関係における問題解決を図り、人びとのエンパワメントと解放を促していく。ソーシャルワークは、人間の行動と社会システムに関する理論を利用して、人びとがその環境と相互に影響し合う接点に介入する。人権と社会正義の原理は、ソーシャルワークの拠り所とする基盤である(国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の定義)

### SSWとは

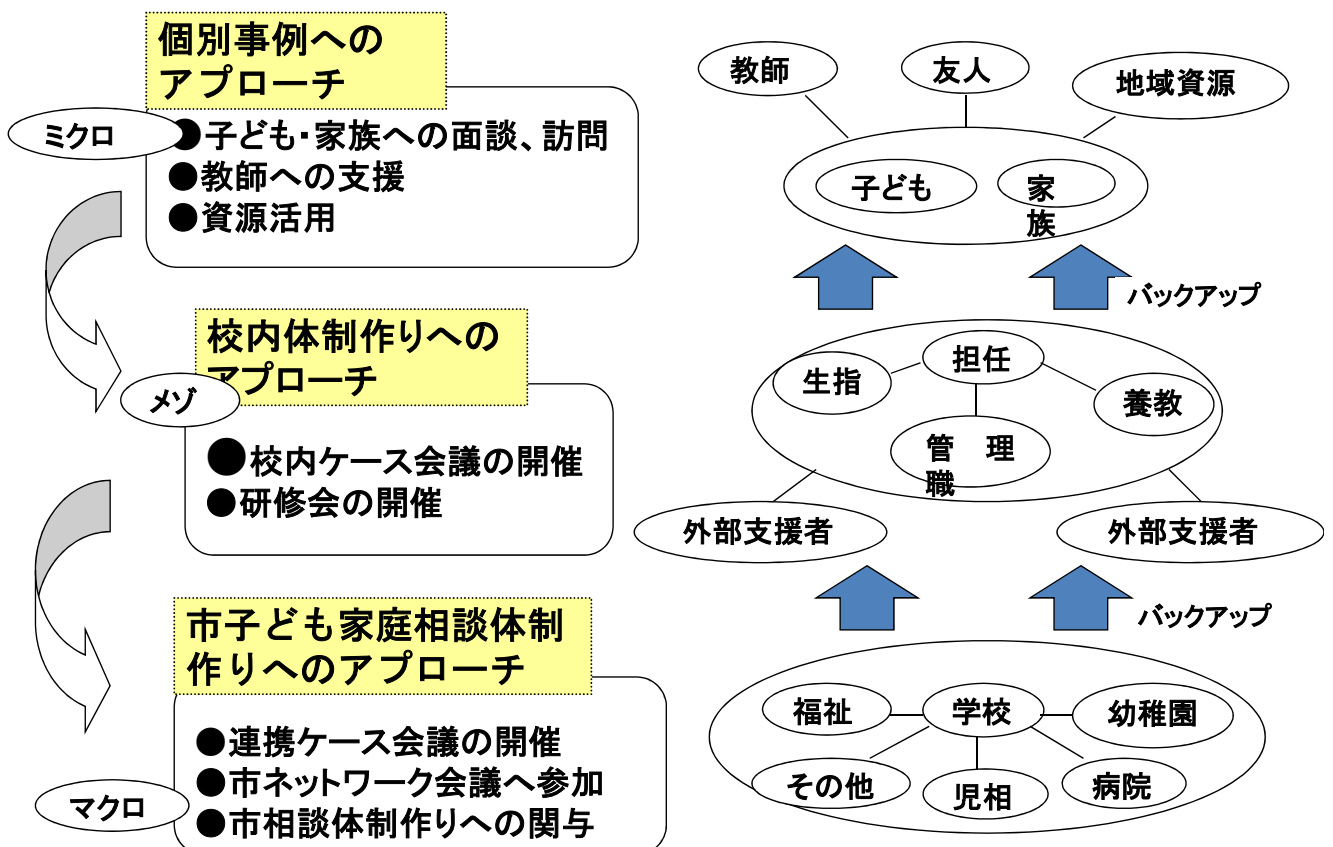
- 学校をベースにソーシャルワークを展開
- 教師の温度を理解の上、様々な代弁、調整を行う

# スクールソーシャルワーク(SSW)とは

- 学校をベースに、子どもの最善の利益、福祉の価値の元にソーシャルワークを展開する。
- さまざまなシステムレベル(ミクロ・メゾ・マクロ)に変革を起こす専門職。
- 問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた「環境へ働き掛け」たり、関係機関等との「ネットワークを活用」したりするなど、多様な支援方法を用いて、課題解決への対応を図っていくこと(文部科学省2008)

25

## SSW:ミクロ・メゾ・マクロ実践(山野,2006)



# なぜ学校なのか

- 貧困15%、孤立3割＝子どもたちの問題行動の背景にある→決して、ごく一部の問題ではない→理解されにくい



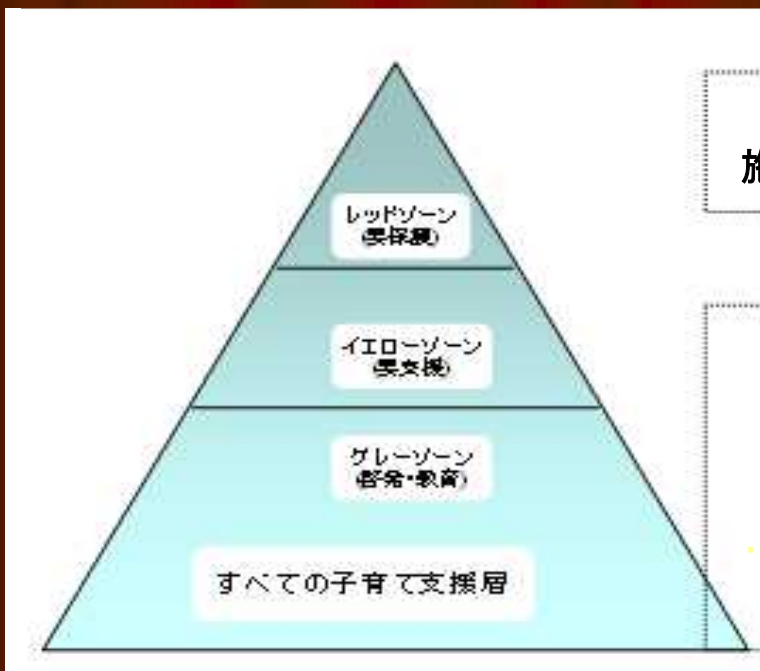
予防的意義

- 積極的でない事例にもアプローチする必要
- 小中学校は子どもの全数把握できること
- 学校は、生活に密着した、子どもや家族にとって大変身近なところであること



- 教育・学校に背景を見る福祉視点が必要

## 児童相談所が対応するのは極一部



.....児童相談所対応(緊急)  
すべての子どもから見ると約1%  
施設入所は全相談件数の約10%  
児童福祉司もちケース過多  
＝1人平均58.23(2010年)

.....市町村の児童相談部署  
丁寧に共に歩む支援

.....学校や地域  
自然体でアウトリーチでき、  
教える・伝える、つなぐ必要大  
⇒学校を活用することが  
重要な課題

資料:

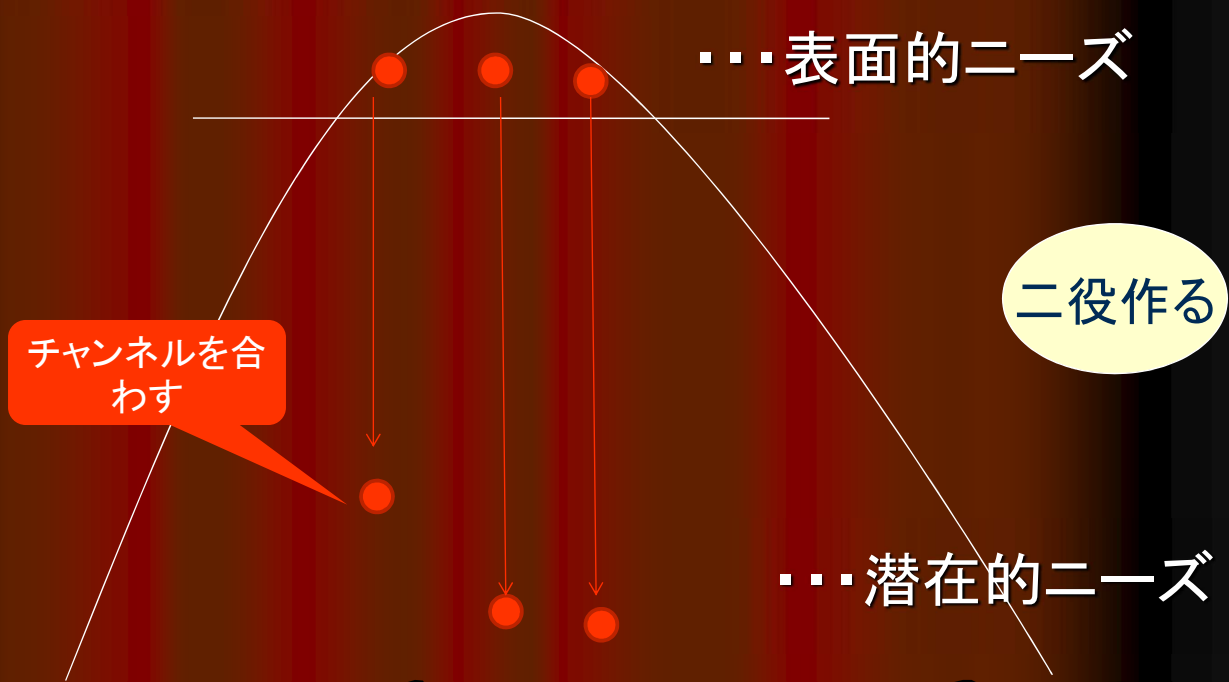
## SSWの役割と限界

- 学校に福祉の視点を導入する  
アセスメント(見立て)・プランニング(手だて)  
・モニタリング(見直し)をシステム化する
- 学校へ: 声なき声をひろえるよう、学校内が機能するように働きかける
- 機関調整: 学校・福祉機関の代弁、通訳をする
- 教育委員会へ: 市として機能するよう働きかける
- 子ども・保護者への支援
  
- 限界: 毎日勤務ではない

あるSSWの1日(3年目)..	
勤務日	20××年〇月×日( )..
勤務時間	10:00~17:00..
勤務校	e小・X中..
校内時間	5h..
校外時間	2h..
合計時間	7h..
時間..	活動内容..
10:00..	X中学校・要保護児童対策地域協議会連携ケース会議への出席..
11:30..	市・福祉担当者と小学校ケースについて打合せ(生活保護・ひとり親家庭へのサービス) ..
12:00..	移動(e小学校へ) ..
13:00..	e小学校 特別に支援を要する児童についての経過報告(生指・SSW) ..
13:45..	e小学校 特別支援に関する委員会会議..
14:30..	社会資源の情報収集.. ・地域生活支援センターTEL.. ・DV関係の保護手続き確認(市役所) ..
15:00..	情報収集結果を生指に報告..
15:30..	X中学校にTEL・AMの会議についての確認..
16:00..	e小学校 5年生男児ケース会議
17:00..	e小学校 次回勤務日までのSSWの動きの確認等をして終了(校長・教頭・生指・SSW) ..

出所:金澤2008

\* アセスメント＝本当のニーズを探る  
～なぜ、こんなことに？



山野(2012)『子育てに困難を抱える人への支援』「国際文化研修」p. 28

## 具体例(SSWの動き)

- 窓ガラスすべて割れている学校→アセスメントから地域の方も視野に入れてプランニングを行う、地域の方が学校の前に立ち、2人、3人(教師、生徒、PTAなど)と増える→学校が落ち着く
- 給食費未納、不登校、ネグレクト→母親の真のニーズを探り、主体性に焦点をあてた支援(地域の機関、人につなぎ、母自身がボランティアに参加)
- 関係性に着目し、親と子ども、親と学校、親と機関、地域をつなぐ



# いじめ対策防止対策推進法

- 「いじめ」を「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校(※)に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義すること。
- H24年は前年度より2.8倍に増加

33

## ● いじめの特徴は？

- ・対立構造が複数おきる(親、子ども、教師各内部)
- ・いじめられた側に注目
- ・教員がオープンにしにくい
- ・教師不信があると大きくなる
- ・クレーム、学級崩壊に移行しやすい
- ・教師も感情的になりやすい

→いじめた側の子どもたちの背景には・・・

→不信の輪が広がりやすい→地域をオープンに  
⇒地域を巻き込んだ支援の展開(保護者会等)

34 学校マネジメントの支援＝SSWが調整